

実 務 経 歴 書

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む。）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、 二級 木造 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。 令和〇〇年〇〇月〇〇日			
氏名 建築 士郎			
長崎県指定登録機関 一般社団法人 長崎県建築士会 会長 様			
勤務先等			
勤務先（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
〇〇市消防本部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H29年4月～R2年3月	3年0月
在職期間		地位職名	
年月～年月	年月数	建築実務の内容（建築士法施行規則第10条）	
H30年4月～R2年3月	2年0月	係員 消防長又は消防署長が建築基準法第93条第1項の規定によって同意を求められた場合に行う審査に関する実務	
建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計
			2年 0月
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間
			年月～年月 年月数
	消防同意における 審査・指導補助	—	H30年4月～R2年3月
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）			
〇〇市の建築物の消防法等の関係法令に基づく、防火に関する規定についての審査の補助(〇件)、防火に関する指導の補助(〇件)、及び完成建築物等の中間・完了検査の補助(〇件)を担当した。			
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間
			年月～年月 年月数
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）		
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間
			年月～年月 年月数
	実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等）		
※経由庁（機関）記載欄		※登録機関記載欄	